

誰もが安心して暮らせる環境づくりを目指して ～防災・交通安全への取り組み～

誰もが安心・安全に暮らせる環境を目指し、地域防災に向けた取り組みや交通安全活動を通して社会資源の一つとして地域に貢献できるように活動展開している。災害が起こった際の避難施設としての機能の整備、地区の交通安全運動を浸透させるためのマスコット作り等を行うことで、地域の安心・安全を支える一端を担っている。

鳥取県

社会福祉法人

こうほうえん

〒684-0033 鳥取県境港市上道町2087-2 (グループホームあがりみち)
TEL : 0859-47-6544 FAX : 0859-47-6541

○法人設立年／昭和61年

○法人実施事業

- ①経営施設数合計：96事業
②経営施設・事業【種別毎の数】：
特養…7、老健…3、ケアハウス…5、生活支援
ハウス…4、高優賃…2、保育所…5、リハ病院
…1、デイサービス…17、訪問介護…4、訪問
入浴…2、訪問看護…3、訪問リハ…1、デイケ
ア…4、ショートステイ…10、特定施設…5、
福祉用具貸与…1、グループホーム…8、居宅介
護支援事業…6、小規模多機能型居宅介護…3、
介護予防支援事業…3、知的障害就労支援施設…
1、介護予防拠点…1

○法人の理念・経営方針

【理念】

私たちは、地域に開かれた、地域に愛される、
地域に信頼される『こうほうえん』を目指します

【基本方針】

私たちは、サービス業のプロとして、正しい情
報を伝達し、自分が受けた、保健・医療・福祉
サービスの提供・改善に努めます

○取り組みの法人での位置づけ等

施設の防災機能の活用等を通して地域と一体と
なった活動を目指し、取り組んでいる。

○取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

グループホームあがりみち (併設：デ
イハウスあがりみち)

【施設種別及び利用定員】

認知症対応型共同生活介護 18名、小規
模多機能型居宅介護 25名

○活動内容

- ◇活動開始年：平成19年10月
- ◇活動の対象者：
 - ・各サービスご利用者、地域住民、地区
の交通安全指導員の方々
- ◇活動の頻度・時間：
 - ・春夏秋冬の年4回行われる交通安全運
動とマスコット作り (週3回20分程度)
 - ・運営推進会議 (1回/3か月)
 - ・防災避難訓練 (2回/年)

活動実施の背景、実施にいたった理由

当法人では、「地域に開かれた、地域に愛される、地域に
信頼される」施設づくりを理念に掲げ、地域と一体となった
活動展開を目指している。グループホームあがりみちは、平
成19年10月にデイハウスあがりみちとの併設型施設として開
所した。

開設以来、事業運営の透明性の確保、地域ニーズの共有を
目的として、地区代表と運営推進会議を定期的で開催してい
る。会議を通して地域防災についての課題が浮き彫りとなり、
地域住民とともに継続的に協議をし、取り組んでいくことと
なった。また、高齢者や子供達が安全に暮らせる環境作りの
一環として、平成20年2月、境港市警察署、交通安全協会の
協力により地域住民、ご利用者に向け交通安全教室を開催し
た。ご利用者の「講演に参加する事しかできない」との言葉
から、ご利用者・職員が地域の一員として何か役に立てない
かとの思いが募り、交通安全マスコットの作成開始に至った。

実施内容

事業所は上道5区・8区の境界に位置しており、いずれも
ほぼ住宅で占められている。運営推進会議において、自然災
害等における住民の避難場所の確保が課題として上がった。
独居高齢者の緊急一時的な受け入れ先としての位置付けをと
の依頼もあり、隣接の新さかい幸朋苑とも連携し、非常食の
備蓄や駐車場・施設設備をいつでも提供できる様に整えてい
る。また、事業所が年2回行う防災避難訓練には地域住民に
も参加いただき、連携強化に向け取り組んでいる。

平成20年夏からご利用者・職員が地域の安全を祈り、日々
レクリエーション活動の一環として、リラックス効果のある
香り袋のマスコットを作成している。マスコットは、年間4
回行われる交通安全週間で、地区の交通安全指導員の方々か
ら運転者に配布していただき、交通安全を呼び掛けている。

活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

運営推進会議での継続的な意見交換や防災避難訓練への参加を通して、地域住民の防災への意識が少しずつ芽生えてきていると感じている。また、運営推進会議が防災に限らず、自宅で暮らす認知症高齢者についてなど、誰もが安心・安全に暮らせる町づくりに向けた検討の場となっている。

地域の方々には多くの物を提供していただき、その中にリサイクルとして着物の生地がある。マスコット1号は着物の生地をリユースして作成した。ご利用者、職員も共に生地選びから1つ1つ作り上げていく過程の中で切る、縫う、貼る等分担作業を行っている。自らできる作業を選択されることが増え、語り合いながら楽しんで作成に至っている。面会に来られるご家族のアイデアも取り入れて作成する中で、ご利用者個人でのQOLの向上も見られた。この春、平成20年度中の活動が優秀であったことを境港警察署より表彰され、ご利用者・ご家族と喜びを分かち合った。今後も日常生活の中の楽しみとして、また、地域住民の交通安全に対する意識の向上や交通事故防止の一助となれるよう日々期待が膨らんでいる。

今後の課題及び展開

現在行っている活動は、地域の安心・安全を支える一端を担うべく、第一歩の段階と言える。

今後は、これまでの活動を継続しながら、災害時における地域とのより実践的な協力体制の構築や、交通安全に対する地域住民への普及活動の拡大等をさらに進めていきたい。そのためには、隣接の新さかい幸朋苑との連携もより一層強化していく必要がある。また、地域の中で果たすべき役割・事業所の位置付けを明確にし、地域に向けてそれらの情報を発信し続けることも重要だと考える。地域の方々が何時でも安心・安全に暮らせるよう、地域の一員として、また、地域の拠所となれるよう取り組んでいきたい。

主な経費や財源及び人員等

- ・取り組みに係わった職員数 15名
（職種等：総合施設長、事業所管理者、看護師、介護福祉士、介護士）

